「筋萎縮性側索硬化症におけるイノシトール6リン酸キナーゼの役割」
に関する情報公開

当センターでは下記の研究を実施します。この研究の研究対象者に該当すると思われる方のご遺族で、本研究に協力されたくないと思われた場合には、問い合わせ担当者までご連絡ください。また、該当すると思われる方で、研究内容についてよく知りたいと思われる方は、お問い合わせください。研究の守秘義務および個人情報の保護に反しない範囲で出来る限りご回答させていただきます。研究に参加されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。また、本研究により個人を特定できる情報が外部に出ることはございません。

●研究の名称
筋萎縮性側索硬化症におけるイノシトール6リン酸キナーゼの役割

●研究の対象
2001年7月～2020年3月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断により顕著な疾患なしと診断された方。

●研究の期間
2020年7月から2021年3月まで

●研究の目的
筋萎縮性側索硬化症（ALS）の神経細胞死へのイノシトール6リン酸キナーゼ（IP6K）の関与を明らかにし、疾患メカニズムの解明と治療法の新たな戦略につなげる。

●研究の方法
筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者およびコントロール例の脊髄において、質量分析法を用いてイノシトール6リン酸キナーゼの機能活性を調べる。

●研究に使用する試料・情報
当センターからは、コントロール例の凍結脊髄を提供いたします。

●研究組織
東京都健康長寿医療センター　神経病理／高齢者ブレインバンク　齊藤祐子
村山繁雄
東海大学医学部内科学系神経内科　永田栄一郎（主たる研究者）

●問い合わせ先
〒173-0015　東京都板橋区栄町35番2号
東京都健康長寿医療センター
高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）
電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）